

ユース SD アーティスティックスイミング競技用音源について

競技用の音源（データ & CD）について

提出日時	<p><u>公式練習日 1 月 1 6 日 (金) プール入場後すぐ</u></p> <p>※クラブチーム毎にまとめてプールサイド音響席へ提出（CDの郵送不可）。</p>
提出物	<p><u>本番用 CD 1 枚</u></p> <p>（アーティスティックスイミング競技規則に従って作成した音源）</p> <p>※CDのジャケット及び盤面に、<u>種目名、所属クラブ名、選手名、タイム（曲の正確な長さ）</u>を日本語で記載する。</p> <p>※盤面に油性ペンで直接記入。（CD-R 自体が薄いため記載の際には力の入れすぎに注意する。<u>文字はハッキリと読めるように丁寧に記入する</u>）。</p> <p>※ラベルは貼らないこと。ラベルの厚みや貼り方の歪みで回転不良等が発生し再生できない場合がある。<u>直接レーベルに印刷しても同様の場</u> <u>合がある。</u></p>
バックアップ用 CD	<p><u>プール来場時に持参し、いつでもプールの音響席に提出できるように携行する。</u></p>
音源の作成	<p>「音源作成時のポイント」をよく読み、音源を作成すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各選手の出場種目ごとにCD 1 枚とし、<u>CDの最初に 1 曲を録音する。</u> ・<u>ディスクは CD-R</u> を使用する。（CD-RW は再生時に問題が生じる場合がある）。 <p>※CDプレーヤーを使用するため、ファイルによっては「再生できない」「早送りできない」等が起きることがある。そのため予めCDプレーヤー、CDラジカセ等（なるべく数機種で）で再生できるかを確認すること。</p>
CDの引き取り	<p>最終出場種目終了後、クラブチーム毎にまとめて音響席までとりに来ること。</p>

音源作成時のポイント

音源作成時、以下をチェックしてください。

- パソコンに録音（取込む）する場合、波形等を見ながら入力オーバーしないよう注意する。（音の悪さはこれに起因している場合が多い）。
- パソコン編集した音楽を「windows Media Player」や「iTunes」を含むライティングソフトでCDにする時は、必ず「オーディオCD（音楽CD）」「オーディオCDを作る」等を選んで作成する。（データCDやmp3ディスクは選ばない）
- 予め手持ちのCDプレーヤー、CDラジカセ等（なるべく数機種で）で再生できるか確認する。
（データCDはパソコンでは再生できても、市販のオーディオ用CDプレーヤーでは再生できない、早送りや巻き戻しが出来ない等が生じ、曲かけ練習に支障をきたします）

WAV（またはAIFF→MAC）とmp3について

WAV（またはAIFF）は市販のCDと同じ音質であり、パソコンで大会用の音源を作る場合はCD等からWAV（またはAIFF）が望ましい。

mp3は音質、容量を圧縮（間引く）しているので、スマホ、ipod、ウォークマン等で聴くには適しているが、大きな大会で大きな音量を出す場合は音質の違いが出る。

特に曲によっては、シンバルや高域のヴァイオリンやピアノの音質、低音の豊かさ等に違いが出て豊かな音楽迫力ある音楽にはならない。

mp3/m4a（AAC）で購入した曲を音楽編集ソフトで編集し書き出す際はWAVファイルでの書き出しを推奨する。

※パソコンやスマホでダウンロードされた音楽は既に圧縮されており（YouTubeは更に悪化）、これをmp3にすると更に圧縮され、音質はより劣化する。

特にオーケストラ等生楽器の音楽は迫力が削がれ、音量を上げてても迫力が出ない。

■CD ケース ジャケット記載内容

例) 関東 ASC ソロフリー ●分●●秒 佐藤陽子

関東 ASC デュエットフリー ●分●●秒 佐藤・田中・鈴木

所 属 :

種 目 名 :

音楽時間 : _____ 分 _____ 秒 _____

チーム名・選手名 :



■C D 記載内容

所属名称

チーム名または選手名

種目名

○分○秒